

# 県中農林ニュース

ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



【写真：天栄米新パッケージ（左からゆうだい21、漢方環境農法、ゴールドプレミアムライス）】（本誌3ページ掲載の天栄米）

第15号（令和元年12月発行）

～目次～

- 特集：台風第19号等の暴風雨について P.1～2
- 農林業関係の動き P.3～6
- おいしい6次化商品 P.7  
～Oriy's HONEY（郡山市）～
- お知らせ P.7

編集・発行 福島県県中農林事務所

## 台風第19号等の暴風雨について

全国各地に被害をもたらした台風第19号等の暴風雨は、福島県においても洪水や土砂崩落、河川の氾濫・決壊等を起こし、農林水産業では、県内で636億円を超える被害が確認されています。県中管内でも、165億円を超え、平成10年8月末豪雨を大きく上回る甚大な被害となっています。

県では、被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻せるよう、市町村や国、関係機関・団体等と連携を図り、速やかな復旧と被災者の生活再建に取り組んでまいります。

県中管内の被害状況と復旧支援の概要については以下のとおりです。

### 【農業振興普及部】

農作物や樹体への被害は、水稻の冠水・土砂流入のほか、ネギ、キュウリ、イチゴ、りんご、日本なしなど多くの品目に及んでおり、被害面積は管内で約600ha（県全体の25%）、被害額は約6億5千万円となっています。このほか、パイプハウス等農業施設被害額は約6千万円、畜産の被害額が約1千万円、合わせて約7億2千万円と県全体の30%を占める被害額となっております。これら被害状況の取りまとめや技術的支援などについても、各市町村やJA等と連携して現地対応を行ってまいりました。今後は、営農再開に向け、各市町村とJA等と連携しながら各種支援対策を迅速に進めてまいります。支援対策の主なメニューは、「農業施設の修繕・再建、機械等の修繕、取得」「稲わらの撤去」「収穫稲の腐熟化対策」「保管中の米が浸水により出荷不能となった生産者の営農再開対策」「追加の種子・種苗、追加防除・施肥、果樹の改植」などへの助成が用意されております。詳細については、当事務所農業振興普及部農業振興課又は各市町村農業担当課へお問い合わせください。



【水没したネギ畑（郡山市阿久津地内）】



【被災したパイプハウス（須賀川市大東地内）】

## 【農村整備部】

農地等の被害は、農地被害3,173箇所、農業用施設3,283箇所、生活関連（農業集落排水施設）12箇所、計6,468箇所の被害が発生し、被害額は約128億円となっています。

平成10年8月末豪雨を上回る大きな被害となっていることから、当事務所農村整備部職員による市町村支援に加えて、県農村整備総室や農林水産省及び青森県・大阪府の農業土木職員の応援を受け、被害箇所の調査・測量、査定資料等の作成を進めています。

今後も、被害を受けた農地や農業用施設の早期復旧と1日も早い営農再開ができるよう、管内市町村の災害査定などを支援してまいります。



【護岸及び導水路が流失した農業水利施設】  
(須賀川市)



【畦畔及び用水路が崩落した水田】  
(三春町)

## 【森林林業部】

林地被害関係では、2市3町2村で溪流荒廃1件、山腹崩壊13件が発生し、被害額は約4億2千万円となっています。

また、林道関係の被害も大きく、149路線586箇所ですべて路体崩壊、法面崩落などが発生し、被害額は約5億9千万円となっています。また、生活道となっている路線の一部が現在も通行止めになっています。

さらに、木材加工施設が浸水に遭い、機械・電気設備関係がほぼ全滅するとともに原材料や製品も利用不可能となり、また、特用林産施設でもきのこ生産施設が浸水するなど甚大な被害が発生し、被害額は約19億円となっています。

今後とも、関係機関等と連携しながら被災地の復旧、早期の事業再開に向けた支援を進めてまいります。



林道被害 畑田線の路体決壊状況  
(田村市 大越地内)



特用林産施設被害状況 (郡山市 日和田町地内)



菌床しいたけ空調施設 (左) 菌床しいたけ空調施設内部 (右)  
(菌床・棚等すべて流出)

県農林水産部では、主な支援策等をまとめた手引き書を県ホームページ（「福島県農林水産業復旧の手引き」、「福島県農林水産業被害窓口」で検索）に掲載しております。

詳細については、下記URLでご確認ください。

○台風第19号等の暴風雨による災害からの農林水産業復旧の手引き

○台風第19号等による農林水産業被害に対する主な支援対策の概要

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/tebiki.html>

○台風第19号等による農林水産業被害に係る相談窓口の設置について

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/typhoon19-sodanmadoguchi.html>

## ～農林業関係の動き（トピックス）～

第12回「天栄米」食味コンクール、第21回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会in木更津が開催されました！

【須賀川農業普及所】

11月3日に「第12回『天栄米』食味コンクール」が天栄村で開催され、村内産の米84点が出品され、総合部門で金賞5点、優秀賞7点、品種栽培部門で金賞1点、優秀賞2点が選ばれました。

さらに、11月30日～12月1日には「第21回米・食味分析鑑定コンクール：国際大会in木更津」が千葉県木更津市で開催され、全国から約5,000点の米が出品され、厳正な審査の結果、最高部門である総合部門で、内山正勝氏（天栄米栽培研究会）が金賞、正勝氏の長男である内山耕一氏（天栄村ブランド化推進協議会）が特別優秀賞を受賞し、天栄米栽培研究会は総合部門で通算10回目の金賞受賞となりました。

天栄村では「天栄米」のブランド化を推進しており、今回の金賞受賞によりさらなる有利販売につながることを期待しています。

普及所としても、天栄米のブランド確立に向けた取組を支援してまいります。



【天栄米食味コンクールノミネーター】



【金賞、特別優秀賞を受賞した内山さん親子(国際大会)】

首都圏の就農・移住希望者との交流会を開催しました！

【田村農業普及所】

11月16日に東京都中央区日本橋において、首都圏の就農希望者や移住希望者を対象に、田村地域や農業への理解促進と就農へのマッチングを図る交流会を普及所として初めて開催しました。

交流会には、田村地域出身者も含め19名が参加し、田村の農畜産物を使用した料理や特産品を味わいながら、生産者や市町・JA等の職員から農業や移住について紹介を行いました。

和やかな雰囲気で行われた交流により、参加者からは「生産者の生の声が聞くことができ、参考になった」、「田村地域に行ってみたくなった」と好評でした。

今後も新規就農者の確保のため、参加者のフォローアップをはじめ、就農希望者への支援やPR活動を関係者と連携して行ってまいります。



【各市町紹介の様子】



【参加者と関係機関担当者との交流の様子】

## 森林づくりタウンミーティングが開催されました！

【森林林業部】

森林環境の保全や、福島県の豊かな森林をすべての県民で守り育て未来へ引き継いでいくため、県では平成18年度から森林環境税を導入しています。

この福島県森林環境税の現行制度が令和2年度に満了することから、県民の皆様これまでの取組や成果をお知らせし、ご意見などをお聴きする「森林づくりタウンミーティング」を県内8地区で実施しており、県中地区では、11月19日に県郡山合同庁舎で開催されました。森林環境税について理解を深めていただくため、これまでの取組や成果について県や郡山市より発表したほか参加者からは森林環境教育の継続又は更なる充実などのご意見をいただいたところです。

各地区のタウンミーティングにおける意見等を参考に、福島県森林環境税の今後のあり方が検討されることになっています。



【タウンミーティングの様子】

## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン第4回農林水産物PR活動、第2期県中地方特産品プレゼント抽選会を開催しました！

【企画部】

11月23日にヨークベニマルメガステージ須賀川南店において、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン第4回県産農林水産物PR活動を行いました。アンケートや農林水産物クイズに回答いただいた300名に県オリジナル品種米「天のつぶ」「里山のつぶ」（2合）をプレゼントしたほか、新米（10kg）が当たる抽選会やうつくしまライシーホワイトによる福島県産米のPRを実施しました。

また、県中地方の24直売所の購買者を対象とした県中地方特産品プレゼント企画では、12月13日に第2期の抽選会を開催し、渡部県中農林事務所長が応募者153名（1,141口）の中から当選者20名を決定し、FGAP認証を受けた郡山市産米や天栄村産米（本誌3ページ掲載の米・食味分析鑑定コンクール受賞米）、6次化商品等をお送りしました。



【福島県産米のPR】



【第2期抽選会の様子】



## 株式会社阿部農縁がFGAP認証を取得しました！

### 【須賀川農業普及所】

11月26日に須賀川市の株式会社阿部農縁が、農産物や農作業の安全性確保を目的に生産工程を管理する福島県の認証制度「ふくしま県GAP（FGAP）」を取得し、認証書が交付されました。

認証品目はモモで、普及所管内でのFGAP認証としては2件目となります。

佐藤須賀川農業普及所長から、寺山佐知子社長にFGAP認証書が手渡されました。

認証を受けて、寺山社長は「FGAPの取組を通して食の安全安心をPRし、さらなる販路拡大につなげていきたい」と話していました。

普及所としても、GAP取得の推進に取り組んでまいります。



【FGAP認証を取得した寺山社長（中央）】

## 「畑の学校」閉校式と成果発表会が行われました！

### 【農村整備部】

11月22日に福島県立たむら支援学校（春山校舎）の「畑の学校」の閉校式が行われました。

閉校式に先立ち、児童・生徒たちは、心を込めて栽培・収穫をした大根、里芋、にんじんを使って豚汁を作り、感謝の意を込め関係者に振る舞いました。参加者は、おいしい豚汁を食べながら1年間の楽しい活動を振り返っていました。

また、11月27日に農業総合センターで、今年度に「田んぼの学校・畑の学校」の活動に取り組んだ小学校など8校の児童や生徒及び関係者が参加し、成果発表会が開催されました。

たむら支援学校代表の2名の児童・生徒さんも、大勢の前での発表にもかかわらず、学校クイズを交えながら1年間取り組んだ活動内容を立派に発表しました。



【合同成果発表会の様子】  
（農業総合センター）

## 林道上合内大平線じょうごうち おお だいらい せんが林野庁長官賞を受賞しました！

【森林林業部】

11月27日に東京で開催された第35回民有林林道工事コンクールにおいて、株式会社石見組（小野町）が「林野庁長官賞」を受賞し、石井社長が渡部県中農林事務所長へ受賞報告を行いました。

このコンクールは、工事施工技術の向上を目的に、日本林道協会が優秀な林道工事を毎年全国から選抜し表彰しているもので、今回受賞したのは、平成30年度に小野町の森林で林業専用道整備（県営）事業により工事を実施した林道上合内大平線です。急カーブや急勾配区間が延長の大半を占める厳しい地形の中、施工にあたってはICT技術の活用を提案し現場で実践したほか、レーザーセンサーを取り付けた重機を使用して正確な施工に努めるなど、工事の省力化・効率化を図るとともに、出来型・品質の向上を図った点が高く評価されたものです。

上合内大平線は、現在早期の供用開始を目指し仕上げの工事を行っております。



【受賞報告に訪れた石井社長（右から2人目）】

## 令和元年度第1回県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会と第1回県中地方・地域特産品創出クラスター分科会を開催しました！

【企画部】

12月16日に県郡山合同庁舎において、専門家による地域産業6次化に関する講演や実践者の事例発表、また、ネットワーク会員の商品力の向上と会員のマッチングやネットワークの強化を図ることを目的に交流会とクラスター分科会を開催し、21名の参加がありました。

交流会では、株式会社タンク 増田紀彦社長より6次化商品の売り方についての講演と株式会社フルーツのいとう園 伊藤隆徳社長からは、売れる商品についての事例発表があり、参加者はどうすれば売れる商品になるのか思索を深めました。

クラスター分科会では、今年度開発中のいちごを使った2試作品（いちごのジュース、いちごの羊羹）のほかに、会員から出品のあった商品（はちみつ）について専門家のアドバイスを基に参加者で試食・意見交換をしながら交流を図りました。

試作品については、今回の試食で出た意見を参考にしながら、今年度中の完成に向けて、ブラッシュアップしていく予定です。



【講演の様子】



【試食品求評の様子】

## ～おいしい6次化商品～

### ★ 郡山市田村町のOriy's HONEY オーリーのフルーツはちみつ りんご・もも ★

県産ドライフルーツ、シナモンスティック、レモングラス入りのさっぱりとした、ラベルも瓶もオシャレなはちみつです！

殺菌・抗菌作用があるはちみつに県産のドライフルーツを入れるというアイデアから生まれた商品で、すっきりとした甘さで、香りも楽しむことができます。

はちみつは無添加、非加熱、薬剤不使用の天然100%で、パウンドケーキや石鹸などの商品も展開されています。

今回御紹介したOriy's HONEYですが、このたびの台風第19号等により被害に遭い、ただ今、復旧の真っ最中です。Oriy's HONEYの商品を見かけたら応援してくださいね。



【 オーリーのフルーツはちみつ りんご・もも 】

〒963-1248

福島県郡山市田村町上道渡字曲淵75

TEL 090-7568-4300

FAX 0247-955-4670

E-mail kanouyohou@yahoo.co.jp



## ～お知らせ～

ふくなかすい一つ消費拡大キャンペーン実施中！ 【企画部】

県中地域・県内の農産物を使用して県中地域でつくったお菓子「ふくなかすい一つ」のさらなる消費拡大と知名度向上を目的にキャンペーンを実施しています。

キャンペーン期間中に「ふくなかすい一つキャンペーン」協力店で700円（税込）以上お買い物をしていただいた方の中から、抽選で40名の方にふくなかすい一つ等の詰め合わせ（3,000円相当）をプレゼントします。

皆様からのたくさんのご応募お待ちしております！

○応募期間：令和元年12月15日（日）～令和2年2月15日（土）※当日消印有効

○応募方法：協力店に備えてある応募用チラシ又は下記ホームページよりチラシを印刷の上、レシートを貼り、当事務所へお送りください。  
700円（税込）を1口として、何口でも応募可能です。

#### 「ふくなかすい一つ」協力店一覧

安積野菓子処 平田屋 清水台本店	菓子処 喜楽堂	恵びす屋
安積野菓子処 平田屋 荒池公園前店	四季彩菓子アトリエ さとうとバニラと	お菓子のさかい 長久保店
和菓子のうさぎや	みよし堂	お菓子のくわざわ
菓子処 ヤナギ屋	和洋菓子 安河屋	菓子工房いわきや
柏屋 本店	しのぶ菓子店	里の菓子処 よしだ
柏屋 開成柏屋	BON BAKERY	TO-FU Cafe おおはたや
柏屋 香久池柏屋	夢・菓子工房 かめまん 本店	三春昭進堂
柏屋 八山田柏屋	夢・菓子工房 かめまん 仲の町店	
柏屋 静御前通り柏屋	菓子工房あくつ屋	
かど屋(神山菓子店)	みやこじスイーツゆい	

お問い合わせはこちら！

福島県中農林事務所  
企画部 地域農林企画課  
〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号  
ホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510

FAX 024-935-1314